

平成 28 年 2 月 19 日

報道機関 各位

児童・合唱 100 名以上の市民がフロと共演！ 立川市民オペラ公演 2016 プッチーニ作曲 歌劇「ラ・ボエーム」上演

来る 3 月 12 日（土）13 日（日）に立川市民オペラの会は立川市民オペラ公演 2016 プッチーニ作曲歌劇「ラ・ボエーム」を上演いたします。

立川市民オペラとしては 21 年ぶりの再演となる「ラ・ボエーム」。今回の公演の為に公募した児童合唱団 28 名や助演（歌わないで演技のみする方）7 名のほか、立川市民オペラ合唱団の 100 名以上の市民が第一線で活躍するプロのソリストと共にたましん RISURU ホール・大ホールの舞台に登場する場面は圧巻です!!

是非本公演についてお取り上げいただき、多くの方々へ本公演をご周知下さいますようお願い申し上げます。

【公演概要】

公演名： 立川市民オペラ公演 2016 歌劇「ラ・ボエーム」（プッチーニ作曲）

公演日： 平成 28 年 3 月 12 日（土）14 時開演、13 日（日）14 時開演

会場： たましん RISURU ホール（立川市市民会館） 大ホール

監督等：芸術監督=砂川 稔 指揮=古谷誠一 演出=澤田康子

チケット： S 席 ¥7,000 S 席 ¥5,000 A 席 ¥3,000 B 席 ¥2,000

物語は 1830 年ころのパリ、芸術家を志す 4 人の若いボヘミアンたちが気ままな生活を送っている屋根裏部屋。ボヘミアンの一人、詩人のロドルフォと隣に住む貧しいお針娘ミミの淡い恋物語。

※詳しくは別添公演チラシをご覧ください。

【立川市民オペラとは】

立川市民オペラはオペラを通じた街の活性化とクラシック音楽を街に根付かせるため市民主体で組織された立川市民オペラの会と公益財団法人立川市地域文化振興財団が実施し、今回で 9 回目となります。

平成 26 年度には国内において優れたオペラ活動公演へ授与される「佐川吉男音楽賞奨励賞」も受賞。市民オペラの域を超えた高い芸術水準を保ちつつ、産官民学協働での芸術を通じた地域文化振興の先進的なモデル事業となっています。

【立川市民オペラの会】

立川市民オペラの会は、会長に佐藤浩二(立川商工会議所会頭)、副会長に立川和男(国立音楽大学教授)、山崎省次(市民団体:立川オペラ愛好会会長)が就き、市民や企業、立川市、公益財団法人立川市地域文化振興財団などの会員で構成されております。産官民学の連携により、オペラという舞台芸術の創造とあわせ、音楽を通じた地域の活性も視野に入れた文化振興のため、オペラ公演のほかレクチャー&ミニコンサートやゲネプロ見学など地域に密着したオペラの普及活動を行っております。

【公演あらすじ】

時は 1830 年頃、パリの屋根裏部屋で共同生活する 4 人の若き芸術家たち。その中には詩人のロドルフォがいた。クリスマスイヴにひとり部屋で原稿書いているロドルフォのもとへ、階下のお針娘・ミミがろうそくの火をもらいにやってくるが、ミミは戸口でうっかり鍵を落としてしまう。鍵を捜そうとしたその時、ろうそくの火が消え部屋は暗闇に包まれる。月明かりの中で鍵を捜す 2 人の手がふれあい、2 人は恋に落ちる。

2 ヶ月後、ロドルフォとミミは一緒に暮らしていたが、ロドルフォはミミを浮気娘と罵り別れると言い出す。しかし本当は、重い病にかかっていたミミを思っていたことだった。それを知ったミミは別れを決意する。そして季節は移ろい春を迎えるが……。



※写真は 2016 年 2 月 16 日公演「レクチャー&ミニコンサートより

■お問合せ先■

立川市民オペラの会事務局(公益財団法人立川市地域文化振興財団)
〒190-0022 立川市錦町 3-3-20 たましん RISURU ホール(立川市市民会館)内
電話042-526-1312 FAX042-525-6581 担当:内藤、岡崎

※写真やその他資料のご提供もできますのでお問い合わせください。